国際交流情報誌　No.239

SIR JOY Press

5

MAY.2018

公益財団法人　静岡県国際交流協会　Shizuoka Association for International Relations

English information is included!!

子どものための日本語学習支援基金（子ども日本語基金）　ご寄付のお願い

（公財）静岡県国際交流協会では、外国につながる子どもが将来、日本社会で自立した大人として生活していくことができるよう、進学や就職の鍵でもある日本語習得を地域全体で支援するため、静岡県から拠出金を受け、「子どものための日本語学習支援基金（子ども日本語基金）」を創設しました。

この基金では、県拠出金及び企業・県民の皆様からの御寄付を活用して、外国につながる子どもの日本語習得、地域での居場所づくり、学習環境の整備などを支援するための助成事業を行います。

平成29年度から平成31年度の３年間に渡り実施します。募集時期や要項等、詳細は当協会ウェブサイト（http://www.sir.or.jp）をご覧ください。

【助成事業】

日本語学習支援事業（固定メニュー）

- **日本語学習指導者派遣事業（対象：外国人学校）**
  日本語学習授業を新設・拡充する外国人学校に指導者を派遣する
- **日本語学習教材給付事業（対象：外国人学校、地域日本語教室）**
  日本語学習に必要な教材の給付・助成を行う
- **日本語能力試験受験料助成事業（対象：外国人学校：地域日本語教室）**
  日本語能力試験合格者へプリペイドカードを給付する

提案型助成事業（テーマ指定助成）

- **提案型助成事業**
  ４つのテーマ（①日本語学習支援　②キャリア教育支援　③地域住民との交流　④子どもの居場所づくり）について提案事業を募集し、採択した団体へ助成する

※「提案型助成事業（テーマ指定助成）」は指定されたテーマについて、団体から実施アイデアを提案していただき、採用を決定します。民間寄付金を活用して実施するため、募集時期や内容については、一定額の寄付が確保された時点でご案内します。

ご寄付のお願い

外国につながる子どもの日本語学習支援・教育支援を充実させるためには、皆様のご支援が必要です。 地域で充実した活動を行えるよう、皆様のご寄付をお願いします。 テーマを指定した寄付は一定額が確保された時点で、「提案型助成事業（テーマ指定助成）」として活用されます。 その他の寄付は基金事業全体の財源として活用されます。

ご寄付の方法

専用の振込用紙でご寄付をお願いします。静岡銀行をご利用の場合は手数料を当協会で負担します。

その他の金融機関の場合には、振込手数料は振込者負担でお願いします。

ご寄付は一口1,000円以上でお願いします。

専用の振込用紙の入手はウェブサイトからのダウンロード、または事務局へご連絡下されば郵送します。

寄付金控除

■個人
所得税について「所得控除」（寄付金2,000円を超える額を「所得」から控除）ができます。控除を受けるためには確定申告を行う必要があります。

■法人
資本金等とその年額の所得額に応じた一定限度額まで損金算入できます。
詳しくはお近くの税務署、または、当協会までお問い合わせください。

問い合わせ先（基金事務局）　（公財）静岡県国際交流協会
静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル２階　TEL 054-202-3411　URL http://www.sir.or.jp

子ども日本語基金 助成事業
申請についての御案内（地域日本語教室向け）

日本語能力試験受験料助成事業（平成30年度第１期）※第２期は平成31年２月を予定

日本語能力試験に合格した子どもに対して、受験料相当額のプリペイドカード（5,500円）を給付します。

助成対象となる試験	日本語能力試験 （平成30年７月１日実施、（公財）日本国際教育支援協会、（独）国際交流基金主催）
申請手続	子どもが所属する地域日本語教室は、所定の日本語能力試験受験料助成申請書に合格者全員の合格結果通知書の写しを添えて、基金事務局（（公財）静岡県国際交流協会）へ提出する。
申請期間	平成30年９月10日（月）～９月28日（金）

日本語学習教材給付事業

子どもへの日本語学習指導を行う地域日本語教室に教材費を助成します。

助成内容	・１教室あたり10,000円を上限に日本語学習教材費を助成する。 ・子どもの数が20人に満たない場合は、子どもの数に500円を乗じた額を上限とする。
要件	・日本語学習指導者としての条件を満たす者が１名以上いること ・活動に関する規約（団体概要がわかるもの）があり、営利団体又は地方公共団体が運営主体でないこと ・国、県、市町から補助金その他の助成を受けていないこと ・原則として、５人以上の子どもが在籍し、週１回以上活動する地域日本語教室であること ・外部からの委託を受けて実施する地域日本語教室ではないこと　など
申請手続	所定の認定申請書に教室概要書及び団体規約を添えて、基金事務局へ提出する。事務局は審査の上、認定結果通知書を通知する。
申請期間	平成30年４月23日（月）～６月29日（金）

要件や申請手続きの詳細、申請書式はウェブサイトでの閲覧、ダウンロードが可能です。
http://www.sir.or.jp/multiculture/fund/subsidy/detail/id=1545

支援の対象となる子ども＝「外国につながる子ども」とは？

静岡県内に在住し、次のいずれかに該当する、５歳～18歳までの者（ただし、19歳以上であっても高等学校等に在学中の者を含む）

1．外国籍であること
2．日本国籍を持つが両親のうちいずれかが外国籍であること
3．日本国籍を持つが両親のうちいずれかがかつて外国籍であったこと
4．その他日本語学習支援を必要とする相当の事情がある者

English

Fujinokuni World Theater Festival 2018

This major event draws well-known performance troupes from all over the world to Shizuoka.
In addition to theater, the festival will include fun activities to explore the culture of Shizuoka like tea-leaf picking. For details on programs, locations, and times, please check the website below.

- ●When: Saturday, April 28 to Sunday, May 6
- ●Where: Shizuoka Performing Arts Park (100-1 Hirasawa, Suruga-ku, Shizuoka; bus from Shizuoka or Higashi-Shizuoka Station)
- ●Fee: 4,100 yen for theatre (discounted tickets are available as well)

International Exchange Sports Event

This is a fun event that connects Japanese locals with international residents through playing sports like volleyball, badminton and others.

- ●When: Sunday, May 20 (Starts at 10:00)
- ●Where: Taiiku-kan(Gym), Yoshiwara Shogakko (Elementary School), Fuji
- ●Fee: Free
- ●Application: Please contact FILS
- ●Contact: FILS
- ●Phone: 0545-64-6400
- ●Email: fils@div.city.fuji.shizuoka.jp

Consultations for Foreign Residents (Hamamatsu)

Legal consultations are available in English, Portuguese, Spanish, and Tagalog.

- ●When: Thursday, May 24, 13:00-16:00 (Check-in 9:00-15:00)
- ●Where: Hamamatsu Intercultural Center (2-1 Hayauma-cho, Naka-ku, Hamamatsu)
- ●Fee: Free
- ●Contact: HICE
- ●Phone: 053-458-2170

School Guidance Counseling for International Parents

This is guidance counseling for entrance examinations and high school life. Interpreters will be available for Portuguese, Spanish, English, Chinese and Filipino.

- ●When: Sunday, June 3, 13:30-15:00
- ●Where: Fuji Koryu Plaza (20-1 Fuji-cho, Fuji)
- ●Fee: Free
- ●Application: Please contact FILS
- ●Deadline :May 31
- ●Contact: FILS
- ●Phone: 0545-64-6400
- ●Email: fils@div.city.fuji.shizuoka.jp

イベント・催し
EVENTS&ENTERTAINMENT

外国語ボランティアバンク アジア圏言語登録者募集

静岡県国際交流協会では、県民の皆様に語学力を活かしたボランティアとして活躍していただく「外国語ボランティアバンク」を設置しています。今まで様々な機会を通じて登録者の皆様に活躍いただいていますが、最近は特にアジア圏言語の依頼が多く、中国語・韓国語・ベトナム語・タイ語等のアジア圏言語での登録を募集しています。あなたの語学能力を活かして活動しませんか？

- ●対象／語学能力を有する人(特に中国語・韓国語・ベトナム語・タイ語等のアジア圏言語が出来る方)
- ●その他／登録していただいた方には、通訳ボランティアの依頼、研修会への優先受付など、様々な活動のチャンスをお知らせいたします。
- ●その他／登録いただける方は、「お名前・登録言語・ご住所・お電話番号・メールアドレス」をメールまたはファックスにてご連絡ください。
- ●連絡先／静岡県国際交流協会
- ●電話番号／054-202-3411
- ●ファックス番号／054-202-0932
- ●メールアドレス／sir02@sir.or.jp
- ●ホームページ／http://www.sir.or.jp/exchange/volunteerbank/

JICAボランティア写真展

JICAボランティアの写真展を行います。隊員が活動している現地の様子をぜひご覧ください。

- ●期間／４月25日～５月30日（４月27日、５月７日、５月21日は休館日）
- ●時間／９時00分～17時00分
- ●会場／静岡県立中央図書館３階展示室（静岡市駿河区谷田53-1）
- ●参加費／無料
- ●連絡先／JICA静岡県デスク（山口）
- ●電話番号／054-202-0931
- ●ホームページ／https://www.jica.go.jp/volunteer/

異文化への挑戦 ～ミラノに暮らして～

昨年６月に開催し、大好評を博したイタリアのプロサッカーチーム、ACミランでメディカルトレーナーとして活躍してきた静岡市清水区出身の遠藤友則さんを再び講師としてお招きし、ご自身がミラノに行くきっかけとなった１人のサッカー選手との出会い、ミラノでの４人の子育て、異文化に溶け込むための様々な苦労など貴重なお話をしていただきます。

- ●開催日／５月11日　金曜日
- ●時間／13時00分～14時00分
- ●会場／MIRAIEリアン１階多目的ホール（静岡市葵区七間町12-4）
- ●講師／遠藤友則氏（在イタリアメディカルトレーナー）
- ●対象／静岡市国際交流協会会員（※会員以外の方でも当日ご入会いただければご参加いただけます）
- ●参加費／無料
- ●定員／100人（先着順、定員になり次第締め切り）
- ●申込方法／電話もしくはウェブサイトからお申し込みください。
- ●連絡先／静岡市国際交流協会
- ●電話番号／054-273-5931
- ●ホームページ／http://samenet.jp/

2018年９月実施分 中国・大学生交流事業 企画・参加者募集

中国の大学生と一緒に交流イベントを創って楽しもう！詳しくはホームページを確認してください。

- ●対象／日本の大学や高専（４・５年次）等に所属する学生。専攻・国籍不問。
- ●応募資格／チームによる応募（１チーム３～６人まで）
- ●その他／渡航費用、イベント実施に係る費用は原則、国際交流基金が負担します。
- ●締切／５月14日月曜日　正午締切
- ●申込方法／締め切りまでにインターネットで応募してください。
- ●連絡先／独立行政法人国際交流基金 日中交流センター　大学生交流事業係
- ●電話番号／03-5369-6074
- ●メールアドレス／fureai@chinacenter.jp
- ●ホームページ／http://www.chinacenter.jp/

ニュージーランド写真展 ～姉妹都市ニュープリマスから伝えたい～

三島市の姉妹都市であるニュージーランド・ニュープリマス市で活動している写真家、伊藤秀海氏の写真展を開催します。富士山そっくりのタラナキ山の写真も多く展示されますので、お楽しみください。

- ●期間／５月17日～５月22日
- ●時間／10時00分～19時00分
- ●会場／Via701ギャラリー（三島市本町7番30号）
- ●参加費／無料
- ●連絡先／Shu's Photography
- ●電話番号／055-976-0038
- ●メールアドレス／shuito.photography@gmail.com
- ●ホームページ／https://www.shu-photography-nz.com

【国際協力セミナー第１弾】フォトジャーナリスト久保田弘信が見た報道されないイエメンの現状

内戦と周辺国の軍事介入により深刻な人道危機に瀕している中東の国イエメン。市民の暮らしの現状を写真とともにお伝えします。

- ●開催日／５月19日　土曜日
- ●時間／13時30分～15時30分（開場13時00分）
- ●会場／浜松市多文化共生センター（浜松市中区早馬町2-1クリエート浜松４階）
- ●講師／久保田弘信氏（フォトジャーナリスト）

●参加費／500円
●定員／60人
●申込方法／電話、メール、来所にてお申し込みください。
●連絡先／公益財団法人浜松国際交流協会（HICE）
●電話番号／053-458-2170
●住所／浜松市中区早馬町2-1クリエート浜松４階
●メールアドレス／info@hi-hice.jp

フラワースタイリストによるトークイベント

ゲストによるフラワーアレンジメント（ブーケシャンペトル）の実演の他、フランスでの修行時代や滞在中のエピソードについてお話いただきます。

●開催日／５月19日　土曜日
●時間／14時30分～16時00分
●会場／workspace AOSHIMA（静岡市葵区追手町2-8）
●講師／向井　真由美（Le bosquet主宰）
●参加費／一般　1000円、静岡市国際交流協会会員800円、学生800円（※学生の方は学生証の提示が必要です）
●定員／20人（最小催行10人）
●締切／５月11日
●申込方法／電話かホームページにてお申し込みください
●連絡先／静岡市国際交流協会
●電話番号／054-273-5931
●ホームページ／http://samenet.jp/

国際交流スポーツイベント

バレーボール、バトミントンなど、スポーツを通じて外国人と日本人が交流します。

●開催日／５月20日　日曜日
●時間／10時00分～12時00分
●会場／富士市立吉原小学校体育館（富士市高嶺町6-1）
●参加費／無料
●申込方法／富士市国際交流ラウンジFILSまで連絡してください。
●連絡先／富士市国際交流ラウンジ FILS
●電話番号／0545-64-6400
●メールアドレス／fils@div.city.fuji.shizuoka.jp

【国際協力セミナー第２弾】看護師の私がJICAとしてガーナで体験したこと

現在、JICA静岡県デスクをつとめる山口実香さん。大学卒業後に日本で看護師として臨床経験を積み、青年海外協力隊としてガーナに派遣され、乳幼児健診や学校での感染症予防の授業をおこなってきました。そんな彼女のガーナでのお話をみなさまにお届けします。

●開催日／５月27日　日曜日
●時間／14時00分～16時00分（開場13時40分）
●会場／浜松市多文化共生センター（浜松市中区早馬町2-1クリエート浜松４階）
●講師／山口実香（JICA静岡県デスク）
●参加費／無料
●定員／40人
●申込方法／電話かメールにてお申し込みください。
●連絡先／公益財団法人浜松国際交流協会（HICE）
●電話番号／053-458-2170
●メールアドレス／info@hi-hice.jp

バリ島の民族音楽　ガムラン体験講座

南国の島、そして伝統芸能が有名なインドネシア、バリ島のガムランを叩いて学ぶ、体験講座です。不思議な響きやリズムから、異文化に触れてみませんか？

●開催日／６月９日、16日、23日、30日、７月７日　土曜日
●時間／10時00分～12時00分
●会場／長田生涯学習センター１階ホール（静岡市駿河区寺田131-1）
●講師／梅田英春（静岡文化芸術大学文化政策学部教授）
●対象／中学生以上
●参加費／500円
●定員／18名
●申込方法／５月12日10時より申込開始。電話で直接お申し込みください。定員に達し次第締め切ります。
●連絡先／静岡市長田生涯学習センター
●電話番号／054-257-0780

外国人児童生徒と保護者のための高校進学ガイダンス

高校の課題や入学に必要な費用の説明、高校生や保護者の話を聞きます。小学生のうちから聞いておくとよい話です。ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、フィリピン語の通訳がつきます。

●開催日／６月３日　日曜日
●時間／13時30分～15時00分
●会場／富士市交流プラザ会議室１（富士市富士町20-1）
●対象／高校進学を予定している児童・生徒と保護者
●参加費／無料
●申込方法／直接、国際交流ラウンジFILSにて申し込み。
●締切／５月31日
●連絡先／富士市国際交流協会FILS
●電話番号／0545-64-6400
●メールアドレス／fils@div.city.fuji.shizuoka.jp

静岡県国際交流協会情報誌発送ボランティア募集

静岡県国際交流協会が発行している情報誌「SIR JOY Press」は県内の国際交流協会や公民館、図書館、大学など様々なところにお送りしています。毎月月末に情報誌の発送を行っていますが、その作業（情報誌の袋詰め作業等）のお手伝いをしてくださるボランティアを募集しています。興味のある方はまずは当協会へお問合せください。

●募集人数／若干名
●対象／できるだけ静岡市または静岡市近郊にお住まいの方
●発送作業／毎月月末の一日（原則として28～31日のどれか一日）、13時30分～15時00分（毎月必ず出席しなければいけないわけではありません）
●作業場所／静岡県国際交流協会会議室（静岡市駿河区南町14-1水の森ビル２階）
●その他／交通費を支給します
●連絡先／（公財）静岡県国際交流協会
●電話番号／054-202-3411
●メールアドレス／info@sir.or.jp

講座・講演会
LECTURE

静岡日仏協会および静岡日独協会主催フランス語／ドイツ語講座

初級及び初中級レベルの語学講座です。

●期間／フランス語：５月15日～11月27日（毎火曜日）
ドイツ語：５月16日～12月５日（毎水曜日）
●時間／フランス語：初級19時50分～21時
初中級18時30分～19時40分、
ドイツ語：初級18時30分～19時40分、初中級19時50分～21時
●会場／アイセル21（静岡市葵区東草深3-21）
●参加費／17,000円～21,000円（クラスによって異なる）
●定員／各クラス30人
●申込方法／フランス語は５月８日、ドイツ語は５月９日の18時30分～18時45分の間にアイセル21にて受付。詳細は各主催団体にお問合せください。
●連絡先／静岡日仏協会（フランス語）
静岡日独協会（ドイツ語）
●電話番号／静岡日仏協会　054-260-4613、
静岡日独協会　054-247-8374

第１期日本語ボランティア養成講座

この講座では、異文化理解・外国人生徒の現状の講義、市内公立小学校での放課後学習支援での実習、U-ToC日本語教室（読み書きクラスまたは、おしゃべりタイム）での実習などを行います。

●期間／６月５日～10月16日　毎火曜日
●時間／13時30分～15時00分
●会場／浜松市外国人学習支援センター（浜松市西区雄踏町宇布見9611-1）
●対象／地域の外国人の方々に対するボランティア活動に興味のある方
●参加費／無料
●定員／20人（先着順）
●申込方法／電話または来所にてお申し込みください。
●連絡先／浜松市外国人学習支援センター（U-ToC）
●住所／浜松市西区雄踏町宇布見9611-1
●電話番号／053-592-1117

海外・留学情報
FOREIGN COUNTRIES INFORMATION

これから海外留学を考える方へ体験談・奨学金情報説明会

海外留学の基礎・奨学金情報の紹介、海外留学経験者による座談会、個別質問会などを行います。

●開催日／５月19日　土曜日
●時間／14時00分～16時30分
●会場／名古屋国際センター５階第１会議

室（愛知県名古屋市中村区那古野1-47-1）
●参加費／無料（事前予約制）
●申込方法／ホームページにてお申し込みください。
●連絡先／日本学生支援機構　留学情報課海外留学係
●電話番号／03-5520-6111
●ホームページ／http://ryugaku.jasso.go.jp/event/seminar/seminar_2018/

アイルランド＆マルタ留学の魅力セミナー

留学先として近年人気が出てきているアイルランドとマルタ。どちらもヨーロッパで英語を学びたい方にお勧めのロケーションです。当日はアイルランドの語学学校のスタッフが来店、またマルタの特長紹介もあります。どなたでもお気軽にご参加ください。

●開催日／５月26日　土曜日
●時間／14時15分～16時00分
●会場／アズ留学センター内（浜松市中区板屋町101-22小川ビル３階）
●参加費／無料
●申込方法／前日までにメールかお電話でご予約ください。
●連絡先／アズ留学センター
●電話番号／0800-888-6188
●メールアドレス／info@az-ryugaku.com

日中青年代表交流　参加者募集

静岡県では、静岡県青年と中国浙江省青年との相互交流を行っています。８月に静岡県から浙江省を訪問し、10～11月には浙江省の青年を静岡県に迎えます。詳しい内容は主催機関へお問い合わせください。

●日程（予定）
６月30日 土曜日 開講式、第１回セミナー
７月28日 土曜日 第２回セミナー
８月８日 水曜日～８月15日 水曜日
浙江省・上海市訪問（浙江省青年との交流、企業視察など）７泊８日
10月　第３回セミナー
10月～11月頃 浙江省青年の来静
12月　閉講式、第４回セミナー
●申込締切／６月６日 水曜日
●対象／中国との交流に関心があり、日中の友好交流の促進や相互発展への取組に参加する意志のある20代から40代までの方
●参加費／15万円（個人的にかかる費用は除く）
●定員／30人
●連絡先／県教育委員会社会教育課青少年指導班
●電話番号／054-221-3305
●ホームページ／http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-080/nittyuu/top.html

相談会
CONSULTATION

外国人のための無料法律相談会（浜松）

法律に関する相談など、何でも。英語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、中国語に対応します。

●開催日／５月24日 木曜日
●時間／13時00分～16時00分（受け付けは、９時00分～15時00分）
●会場／浜松市多文化共生センター（浜松市中区早馬町2-1）
●対象／外国人およびその代理人、外国人と利害関係のある日本人
●参加費／無料
●定員／受付順に相談します。希望者多数の場合は相談できない場合もあります。
●申込方法／電話または来所にてお申し込みください（直接会場へもどうぞ）
●連絡先／公益財団法人 浜松国際交流協会
●電話番号／053-458-2170
●ホームページ／http://www.hi-hice.jp/

（公財）静岡県国際交流協会　事業報告①

平成29年度静岡県医療通訳体制整備事業
医療従事者を対象とした医療通訳セミナー

静岡県では、今年度より、外国人が安心して医療を受けられる環境を整備するために、県内医療通訳体制の整備に取り組んでいます。外国人が病院を受診する時は、ことばや文化の違いなどから、心細く不安なものですが、医療従事者にとっても、どのように外国人患者と関わったら良いか戸惑うことが多いとの報告がありました。そこで、当協会は医療通訳の必要性や活用の理解が進むことを目的に、医療従事者を対象とした医療通訳セミナーを、下記のとおり実施しました。

研修会では、エイズ診療を通じて、多くの外国人患者を診察した経験をお持ちの名古屋医療センターの横幕能行エイズ総合診療部長と羽柴千恵子外来副看護師長から、同センターにおける外国人診療の実態や医療通訳を導入した後の医療従事者の変化などについてのお話を伺いました。また、静岡県 地域外交局 多文化共生課から、今年度から取組んでいる静岡県医療通訳体制整備事業について、磐田国際交流協会から地域の外国人住民の現況や同協会が取り組む多文化共生事業について、当協会からは、外国人診療に活用できる映像などを紹介しました。

西部	開催時期：平成30年１月23日（火）17：00～19：00 開催場所：磐田市立総合病院本館２階 講堂 参 加 者：医療従事者37名、通訳者など関係者９名　合計46名
東部	開催時期：平成30年２月５日（月）　17：00～19：00 開催場所：沼津市立病院　２階講堂 参 加 者：医療従事者36名、通訳者など関係者３名　合計39名
中部	開催時期：平成30年３月６日（火）　17：30～19：30 開催場所：静岡済生会総合病院 地下講堂 参 加 者：医療従事者13名、通訳者など関係者７名　合計20名

平成29年度は、上記セミナー開催とともに、10月～11月に医療通訳者の養成講座の開催及び医療通訳者（病院からの要望に応じ５病院・５言語の29名）の紹介を行いました。

平成30年度は、29年度実施した医療通訳養成講座、医療従事者を対象としたセミナー、医療通訳紹介業務に加え、医療通訳フォローアップ研修会を開催する予定です。

（公財）静岡県国際交流協会　事業報告②

平成29年度第３回外国語ボランティアバンク研修会

平成30年３月17日（土）沼津労政会館にて、「クイズと工作で楽しく防災！！～いつおこるかわからない災害に備えて～」と題して研修会を開催いたしました。

講師に東部危機管理局　地域支援課の方を迎え、前半は「防災講話」、後半は「防災クイズと防災工作」をテーマに研修しました。

「防災講話」では地震発生の基礎知識から災害への備えとして各家庭でできる防災対策の紹介、日頃から災害情報について気を付けて情報を取得するツールを準備しておくことなどが紹介されました。そして、一番大切なことは「“自分は大丈夫”と思わない」ことだとお話いただきました。

後半の「防災クイズ」では前半に研修した内容からクイズが出題され、参加者はご自身が思う回答に挙手し、正解を聞いては「当たった」「はずれた」とにぎやかに進行しました。「防災工作」では新聞紙で作るスリッパとキッチンペーパーで作るマスクが紹介され、各グループにそれぞれ、フィリピン出身の参加者２名とペルー出身の参加者が入って英語・スペイン語での説明の仕方を確認しながら作っていきました。当日は飛び入りで、メキシコ出身で県内在住のエンジニア２名も「地震を経験したことがないので、知っておきたい」と参加くださり、今回の研修会を通して防災対策についてきちんと準備しておくつもりだと話していました。防災について、「まずは一人一人がよく知り、きちんと準備することが大切であること」を確認し合う研修会となりました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

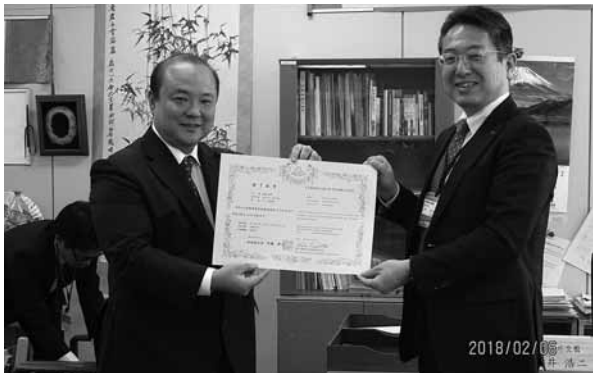
（公財）静岡県国際交流協会　事業報告③

静岡県海外技術研修員

平成30年１月、静岡県海外技術研修員としてペルーから、マサヤ　フカサワさんが約３週間来静しました。フカサワさんは、ペルーで日本料理屋「FUJI」を営んでおり、日本食を学ぶため、約２週間、静岡市内の「株式会社なすびグループ」で研修をしました。その他にも、静岡県の食に関わる研究所を多数訪れました。フカサワさんの感想をご紹介します。

食の高級化と低価格化が進み、今後は食を通じた健康と安全の啓豪や、家庭や地域での食育を提供する役割が求められている中、付加価値の高いサービスを提供する料理人や接客のプロを育成する必要があります。今回の株式会社なすびグループでの研修で学んだことを活かし、ペルーの外食産業のサービスの向上と人材育成の強化を今後進めてまいりたいと思います。また、今回の研修中、様々な世界遺産や地元の特産品に触れる貴重な機会がありました。富士山が世界文化遺産登録されたこと以外、あまり知らなかった私にとってとても勉強になりました。

静岡県が掲げる「世界から見た静岡県」の協賛者としてビジョンを共有しつつ、今後はペルーにいる静岡県民のみならず日系人社会にも静岡県の素晴らしさを伝えていき、ペルーと日本の架け橋の一員として頑張りたいと思います。ありがとうございました。



静岡に21年暮らし続けて

萬寿・メーダ・カツリラタナさん（スリランカ出身・40代）

静岡県内で働く外国人たちは、様々な方面で私たちの暮らしを支えています。マンジュ・メーダさんは、日本語検定一級獲得後、永住権を取り、会社を立ち上げてビデオ撮影・編集を中心とする仕事をしています。

外国人が、生活情報を入手・発信する方法が確立されていない中、マンジュさんは外国人の目線で、多様な社会経験を活かし、多言語による生活情報を流す映像を作り上げています。日本人の作品とは一味違う、日本人にも外国人にも分かり易い作品となっています。忙しい傍ら、自国の紹介を目的にスリランカ料理のレストランも経営しています。日本人の奥さんと共にインタビューに答えてくださいました。

どうして日本に住むようになったのですか？

スリランカ人は皆日本が好きです。戦争に負けても、アジアで最初に先進国となった国として、尊敬の気持ちを抱いています。戦後の国連でスリランカ大統領が、「敗戦国日本に対しては、憎しみや賠償金よりも平和を！」という大変感動的な演説をし、それが日本が勝戦国による４分割を免れるきっかけとなりました。以来、スリランカと日本は友好関係を深めてきています。そんな中、私もまた興味を持って日本語を学んでいました。

1997年来日、４月から静岡インターナショナルスクールで２年日本語を学んでから、県立大学で国際関係論を勉強しました。国際取引法、著作権に関することを卒論にまとめました。卒業後、静岡で就職しましたが、2004年12月スマトラ島沖地震津波が起こり、現地に募金を送る活動をした時に、情報を流すことの重要性に興味を持ち、再び大学に戻って、マスコミ、メディア関係を研究しました。 卒業を前に、大学に残るか起業するか迷っていたところ、前々から私の活動を見ていてくれた先生が、会社設立の方向へと背中を押してくれました。それで2007年に株式会社マンジュ・コーポレーションを作ったのです。

株式会社マンジュ・コーポレーションについて

車関係の仕事、パソコンを修理して売る仕事、ホームページの作成、映像作成と、とにかく物凄くがんばって働きました。最初の一年はよかったのですが、2008年のリーマンショックで車関係の仕事が激減してしまったので、景気の回復を期待しつつ撮影、パソコンに重点を移していきました。2013年静岡市の国際交流協会から、外国人向けに多言語で市のニュースをユーチューブで流す映像作成の仕事が入りました。妻ともそこで知り合ったのです。そのうちに、歯科医師から子供用の矯正用動画編集を頼まれ、それを機に、医療関連の仕事をするようになりました。そして今回、県国際交流協会が、静岡済生会病院と磐田市立病院と協力して、外国人患者のための多言語による入院生活などのビデオ作りをすることになり、私がビデオ撮影・編集を担当しました。

静岡済生会病院での撮影の仕事はどうでしたか？

多言語でのビデオ作りでは、県協会も病院も前例が無かったので難しい面がありましたが、アイデアを出し合って作成していく過程でノウハウが見えてきました。ちょうどタイミングよく、ソーシャルワーカーつきの友達が入院してきたので、その人の実体験に沿って作っていきました。どんな工夫をすれば外国人に分かってもらえるかを考える時は、いつでも自分がユーザーだと思って、ポイントを探ります。最近は病院も医師も頼りにしてくれて、仕事の紹介をしてくれます。医療用のビデオを作ったり、子供矯正で使う動画ソフトの為に システムの提案をする仕事が全国的に展開できつつあります。

日本に住み、働くことで気を使っていることはありますか？

現在、自分から仕事を取りに行くというより、誰かの紹介というのが多いですが、自分は自分らしくしているという姿勢でいます。生活の場では、同じ外国人の立場でも白人との差別を感じることがあります。本当によく警官に職務質問されますから。白人はほとんどされないようです！でも日本人の中で仕事をしていく上では“壁”はありません。

日本の印象はどうですか？

バブルから必死に頑張って来て、今は欲望がなくなりつつあり、これからはのんびりやっていく感じがします。欲望のかなった経済状態だと目に映ります。日本は“すぐ結果を求められる文化”ですが、短期間で結果を出せというのは弊害であり、日本の技術が死んでしまうのではないでしょうか。しかも、今までの技術を海外に持って行かれてしまっています。日本では外国人でも自由に土地や建物を買える事がとてもいい事と思っていますが、自由過ぎてこれからの日本を考える時に問題ないのかと気になります。スリランカでは、現地の人と一緒でないと買えません。

将来の夢はなんですか？

スリランカの自然の動植物を是非撮影したいですね。

記：編集ボランティア　川島康子

世界をつなぐオレンジネット

今では、静岡にゆかりのある皆さんが、世界の国々で活躍しています。「世界をつなぐオレンジネット」のコーナーを開設し、インターネットにより海外の県人会やグループから送られてきた、生活や活躍の様子を伝えるコメントや写真を紹介します。

そして、「世界をつなぐオレンジネット」がきっかけとなり、世界の皆さんと双方向の新しい情報交換や交流が始まることを期待しています。

今回はブラジル県人会からのお便りです。

静岡県にお住まいのみなさんこんにちは！私がブラジル担当のラウロ鈴木です。

2月13日～3月10日まで、ブラジルから南米研修員試行受入事業として2名、「パトリシア　ヒロミ　カワサキ」さんと「カロリーネ　ユミ　カヤノ」さんが静岡県で研修しました。パトリシアさんは、HIS静岡支店で、カロリーネさんは動物病院でそれぞれ研修を行いました。それぞれが日本での研修で多くのことを学び、また、日本での生活を楽しみました。

（▲川勝県知事との面会、左がカロリーネさん、右がパトリシアさん）

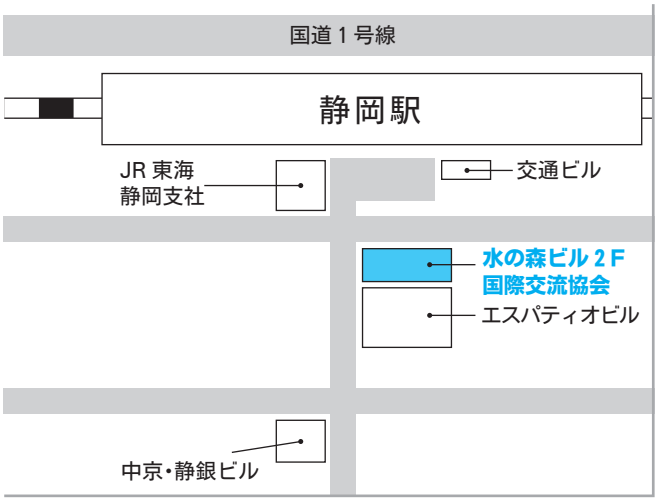
国際交流・イベント情報の募集

SIR JOY Pressの情報欄に掲載する情報を募集しています。掲載希望の方は、必要事項をご記入のうえ、事務局までお送り下さい。締め切りは、掲載を希望する前月の10日までが目安です。

寄付をお願いします。

当協会では、国際交流活動に関わる方々（NPOなど）を支援するため、県民の皆様より寄付を募っております。さらに充実した活動を実現させていくために、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

●一口：1,000円（何口でも結構です）



SIR JOY Press　第239号　2018年5月1日発行

発行／公益財団法人　静岡県国際交流協会
〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2F
TEL 054-202-3411　FAX 054-202-0932
http://www.sir.or.jp/　E-mail info@sir.or.jp　印刷／池田屋印刷株式会社
この情報誌は再生紙を使用しております。